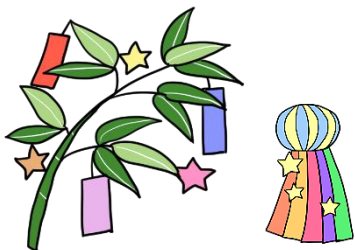


TC 通信

No.2 2018年7月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。(旧 YA 通信)
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



『司書のお仕事』 大橋 崇行/著 小曾川 真貴/監修

勉誠書店 013.1/シ/18

図書館で働いていると、「司書ってどんなことするの?」とよく聞かれ、なんと答えたら良いのが困ってしまいました。専門的な作業が多くて他人に分かるように説明するのが難しいのです。「カウンターに座って貸出返却するんでしょ?」と言われるそうですが、それ以外の仕事が山ほどあって、これを上手く説明できません。

このもどかしさを代弁してくれているのがこの本! 図書館あるあるが満載で、司書の人も、司書のことを知らない人も両方楽しく読める本です。

犬山市図書館で司書をしている方が監修し、愛知県図書館、小牧市図書館などが取材に協力しています。

今度「司書ってどんなことするの?」と聞かれたら、迷わず紹介したい一冊です。

名作 たからばこ

『宮沢賢治童話全集 よだかの星』

宮沢 賢治/著 宮沢 清六/編集 堀尾 青史/編集

岩崎書店 913/イ7/16-5 3階児童



みにくい鳥としてほかの鳥たちから嫌われているよだか、名前の似ている鳥からは名前を変えて、それをみんなに知らせるとまで言われてしまう。一方、自分が生きるため食するたくさんの羽虫が殺されてしまうことに心を痛めるという心優しい鳥である。だれからも嫌われ耐えきれなくなったよだかは、あるとき遠いところに行ってしまうと決心するが、太陽に相談しても星に頼んでも、ことごとく相手にされない。やむなく、よだかは自力でどんどん空高く昇っていく……。

宮沢賢治の童話には「銀河鉄道の夜」「風の又三郎」「注文の多い料理店」など優れた作品が多いですが、この「よだかの星」も短編ながら美しくそして切ない優れた作品です。

とても優しい心を持ちながら、醜いというだけで嫌われてしまうよだか、生きるということの意味を、読者に深く問いかけてくる作品です。

絵本も、版画やクレパスで描かれたものなど、さまざまな絵本が出ていますので、読んでみてくださいね。

テーマ

夏！

待ちに待った夏休み！

宿題は早めに終わらせて、読書の時間を作ってみませんか？
読書感想文や自由研究の題材に、自身の知識アップに、夏の暇つぶしにぴったりな本たちをご紹介します！



『だれでも書ける最高の読書感想文』

齋藤 孝/著 KADOKAWA 816/タ/15

夏休みの宿題といえば、読書感想文。読書が好きじゃない人はもちろん、読書が好きでも「読書感想文は苦手！」という人も多いのでは？

この本では、読書が好きじゃない「読めない派」も、読書は好きだけど文章にするのは苦手な「書けない派」も、スイスイ書けるようになるたくさんのコツを紹介しています。

身近なものをヒントにして書く内容を練る方法、スマートな文を書くための文章作法と表現のツボ、感想文をさらに個性的にするためのプラスアルファまで、読書感想文に苦戦している人の強い味方となる本です！

『10代のための仕事図鑑』 大泉書店編集部/編集 大泉書店 36/シ/17

ご紹介するのは仕事の本です。

長い夏のお休み、将来自分は何になりたいのか？自分にはどのような仕事がむいているか？考えるいい機会かもしれません。

いろいろ仕事を紹介する本はありますが、この本は“人を美しく豊かにする仕事”、“表現を迫り及して人々に伝える仕事”などジャンル別に分かりやすく職業が紹介されています。仕事について皆さんが疑問に感じている事をまとめてある「仕事Q&A」なども掲載されています。

そして何か興味がある仕事が見つかったら、ティーンズコーナーには「看護師になるには」などの「～なるには」シリーズ、また「しごと場発見！～で働く人たち」のシリーズなど、一つの仕事について詳しくわかりやすく書かれた本が多数あります。

この機会にぜひ読んでみてくださいね。



『永遠の0』 百田 尚樹/著 太田出版 F/ヒヤ/06 4階一般

映画化、ドラマ化された作品なので、タイトルは知っているという人も多いのではないのでしょうか。

主人公である26歳の司法試験浪人が、フリーライターである姉にひょんなことから誘われ、第2次世界大戦で戦死した海軍航空兵であった祖父のことを調べることとなります。

戦時中、「お国のため」に命を捧げるのが当たり前とされる中で、敏腕パイロットの祖父である宮部久蔵は臆病者と言われても、「自分は何があっても生きて家族のもとに帰る」と強い信念を持っていたにも関わらず、なぜ特攻隊員となり命を落とすことを選んだのか……

自分の意思とは関係なく、死に向かわざるを得なかった人々の思いが伝わってきます。

第2次世界大戦が終わってから70年以上が経ち、戦争を知らない世代が増えていますが、この戦争での多くの犠牲によって、今の私たちがいるということを感じてほしいです。

『死神の精度』 伊坂 幸太郎/著 文藝春秋 F/イサ/05 4階一般

第57回日本推理作家協会賞短編部門を受賞したこの作品ですが、ファンタジーのようでもあります。

クールで少し奇妙な主人公の死神千葉が6人の調査対象者をそれぞれ一週間観察の後、死の可否の判定をするのですが……

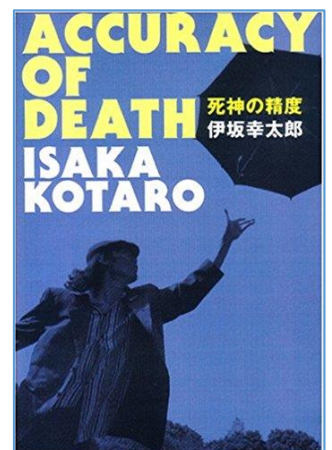
最後には短編6作の人間模様がチョットからみあい、なんだかスツキリ！！心地よいテンポの文章と音楽ネタと最後のオチ、伊坂作品の素敵どころが盛りだくさんです。

人生には終わりがあるけれど今を楽しみましょうと応援されているようです。

作中の老婆の言葉：幸せか不幸なんてね、死ぬまで分からないだってさ

生きてると何が起きるか、本当に分からないからね

続編の『死神の浮力』もぜひどうぞ！！



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



『声優 声の職人』

森川 智之/著 岩波書店 771.7/セ/18 4階新書

「声優」という職業に憧れているあなた、現役声優の声を聞いてみませんか。

声優に必要なものは、声質。活舌。そして何よりも演技力ですって！読解力が必要と「日本語の成績でトップを目指して」とエールを送っています。

『彩雲国物語』の藍楸瑛、『スラムダンク』の水戸洋平、トム＝クルーズやキアヌ＝リーブスの吹替の声の人です。

図書館員 I の本棚

NHK BSプレミアムで放送されている「世界ネコ歩き」でお馴染みの、動物写真家岩合光昭さんの写真集です。

番組では岩合さんは、「いい子だね～」とネコに話しかけながら撮影していたり、撮影中に子猫が岩合さんの頭によじ登ったり、膝の上で昼寝をしていたりするのを見てはほのぼのとしてしまいますが、実は日本人で唯一、世界的な権威のある雑誌『ナショナルジオグラフィック』の表紙を、日本版ができる前に二度も飾ったとてもすごいカメラマンなのです。

可愛いネコの写真集は数多くありますが、岩合さんの写真集はネコの豊かな表情やしぐさ、一瞬の動きを捉え、中にはネコが鼻ちょうちんを膨らませていたり、ペリカンにくちばしで挟まれているなど面白い作品もあります。人との関わりの中でネコが懸命に生きている様子が分かる写真集です。



『岩合光昭の世界ネコ歩き』

岩合 光昭/著
クレヴィス
645.7/イ/15 3階一般



『ねこ』

岩合 光昭/著
クレヴィス
645.6/ネ/10 3階一般



『そっとネコぼけ』

岩合 光昭/著
小学館
645.6/ソ/08 3階一般



『ハートのしっぽ』

岩合 光昭/著
小学館
645.6/ハ/10 3階一般



TC担当イチオシ!

『生命の樹 チャールズ・ダーウィンの生涯』

ピーター・シス/文・絵 原田 勝/訳 徳間書店

E/トク/05-31 3階児童

どんな本?

偉大なる博物学者「チャールズ・ダーウィン」の生涯が、透明感あふれる色彩と精密な筆致で描かれた美しい伝記絵本です。奥深い内容に、観察好き科学好きになってしまうかも…

ここがオススメ!

ダーウィン誕生から「種の起源」発表までが、さまざまな資料と彼の残した自伝、日記や手紙、航海日誌などをもとに描かれています。

B4版の大きめの画面を複数の場面で構成したり、海図や船の断面、図鑑のようなコマ割りで描いたり。絵本とは思えない情報量の多さで、ダーウィンの生涯、研究成果を19世紀の英国や彼の家族の様子とともに教えてくれます。

何度みても見飽きない美しい博物図鑑のような絵本です。

お知らせ!

YA (ヤングアダルト) コーナーは、2018年4月から「ティーンズコーナー」に変わりました!

★YAコーナーは、「ティーンズコーナー」に名前を変えてリニューアル!引き続き、中高生のみなさんが楽しめるようがんばります!

★場所も拡大しました!「TC通信」のブラックボードが置いてあるテーブルの、左側をのぞいてみてください!

「〇〇について調べたい!」「△△の本はどこ?」など、本に関する相談や探し物は職員に気軽に聞いてみてね。



©Kasugai City 2008
春日井市立図書館「読書くん」

発行:春日井市図書館

春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。